

全体講評

今回の午後 の記述式問題は例年通り、PM として持つべき基本的な知識や考え方を問う問題だったといえます。本試験でも難問奇問と思えるようなものは、最近では、まず出題されることはありません。問題や設問を十分に理解すれば答えられる問題が多く、問題文や設問文にある解答制約を把握して、正解にたどりつくことが重要です。誤答はこの手順に誤りがあった場合、例えば一方的な思い込みなどによって起こり得るので、答え方や問題の読み取りに神経を使う必要があります。

解答のポイントや方向性は間違っていないのに、設問の考えや趣旨からずれている解答が多く見られます。指示に従っていない解答も散見されます。問題文や設問文に書かれている表現が大きなヒントであり、解答の手がかりであることをしっかり理解した上で適切な解答表現をまとめるようにしましょう。

問1 ソフトウェアの品質管理

ソフトウェアの品質管理に関する問題です。この問題は問題文の記述から、解答の手がかりの絞込みが難しく、この点で答えにくかったかもしれません。

[設問1]

品質分析のプロセスの穴埋めです。解説の解答ポイントが感じられる解答は正解としました。

[設問2]

この設問は問題文の状況から解答を絞り込むことが比較的容易です。よって、出来はよかったものと思います。

[設問3]

結合試験計画書の内容で欠落している要素を解答します。プロジェクト管理の知識や経験と設問文の文脈から、解答します。比較的出来はよかったように思います。

[設問4]

D 課長と M 主任との間の問題と改善策を解答します。プロジェクトマネージャの視点で高い視野での解答が求められています。うまく包括的に解答をまとめることが重要です。

[設問5]

体制強化のための二つのグループと役割を解答します。設問 3 と同様にプロジェクト管理の知識や経

験と設問文の文脈から、解答する必要があります。比較的出来はよかったように思います。

問2 進捗管理面でのプロジェクトマネージャ育成

進捗管理に関する出題です。この問題は問題文の記述のわりに、解答記述の量がやや多い設問があり、解答がやっかいだったと思います。

[設問1]

文章の中の穴埋めですが長いので解答をまとめる上でなかなか難しい設問でした。解答の趣旨が近ければ適宜得点を付けています。パーフェクトに解答できた方はなかなか見当たらなかったようです。

[設問2]

結合試験計画で欠落していた要素と試験日程を立案するにあたって考慮する点を解答します。この設問のポイントは「障害の発生」ですが、方向性が一致していれば違う表現でも正解としています。

[設問3]

課題管理表の項目を解答します。これは、知識問題として捉えられます。項目の名前は意味が通じれば正解としています。

[設問4]

「PMO」と解答する設問です。色々な呼び方があります。皆さんそれぞれの組織での呼び方があると思いますが、「一般に」と言われれば一番通るのは「PMO」なので、これのみを正解としています。このことを問われた場合、「PMO」と解答するのが無難ですので、そういうケースには是非これを解答するようにしてください。

問3 Web 受注システム開発プロジェクトの計画策定

Web システムの開発プロジェクト計画に関する問題です。こういう文章表現主体の問題は文章の微妙な表現を捉えて解答することが求められます。問題文や設問文にある表現や指示、キーワードを理解すれば、正解がつかみやすくなります。

[設問1]

この設問は一般的な解答を求められているようですが、問題文中に手がかりがあります。該当箇所を把握し問題文に沿って解答してください。

[設問2]

この設問も、設問 1 と同じタイプの設問です。問題文の流れと表現をしっかりと把握する必要があります。問題文中の手がかりをしっかりと捉えるとよいと思います。

[設問3]

この設問は、手がかりが見つげにくいですが、問題文冒頭にセキュリティの記述があります。この記述に準じず別のことを答えた解答がかなり見られました。注意しましょう。

[設問4]

(1)の穴埋めは「秘密保持」も正解としました。「NDA」も正解としています。(2)はセキュリティの文脈で解答している人がかなりいました。「契約形態」という記述が問題文のどこにあるかをよく考えて設問要求を判断する必要がありますので注意してください。

問4 システム開発プロジェクトの計画策定

システム開発プロジェクトの計画策定に関する問題でした。システム再構築に伴う現行のシステムの保守がキーになっています。図をよく見て設問要求を確認する必要があります。

[設問1]

テスト項目やテスト作業に関する設問でした。答えを見ると「何だ」とお思いになった方も少なくないかもしれませんが、記述から言えるレベルでまとめていくことが重要ですので注意してください。現システムと新システムの差異がキーとなることを読み取ってください。

[設問2]

(1)は現システムの保守が凍結していないことがキーとなります。作業の効率の悪さが一義的ですので、これを解答するのが妥当といえます。(2)は、解答例以外だと、根拠がはっきりしないと思われます。設問文の表現が大きなヒントですので注意してください。

[設問3]

(1)は問題文冒頭が手がかりです。これに準じず一般的に答えた解答は不正解としています。(2)は問題文の記述表現から、解答ポイントを探る必要があります。とにかく手がかり、根拠を押さえて解答することを心がけてください。

以上